



こどもクリニックニュース

NO. 185 平成27年6月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (平成27年7月まで)

6月	17日	(水)	1才半健診	加須・保健センター
			内科健診	第四保育所
	26日	(金)	3・9ヶ月健診	騎西・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。
また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。
7月は当番ありません。

当院の診療スケジュール (週間)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前	○	○	/	○	○	○	/	/
午後	○	○	/	○	○	/	/	/

受付時間：午前8:30~12:00、午後14:30~18:00

お盆の診療予定

8月13日(木)~15日(土)は、通常通りに診療します。
※土曜日は午前のみ。

休診の予定

8月16日(日)~23日(日)は休診といたします。



小児科休日診療の予定

平成27年10月までの当番一覧です。

7月	20日	(月)	ともながこどもC
9月	21日	(月)	加藤こどもC
	22日	(火)	ともながこどもC
	23日	(水)	福島小児科医院
10月	12日	(月)	ともながこどもC

診療は9:00~12:00です。

4月~10月までは、祝日のみの診療となります。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。

感染症の情報

5月に目立ったのは相変わらず胃腸炎(嘔吐、下痢、発熱)とリンゴ病、おたふくかぜ、溶連菌感染症でした。

水痘(みずぼうそう)は、一部の小学校で流行しました。今の小学生は、ワクチンを接種していないか、接種していても1回だけのお子様が多いためです。いつ流行しても不思議ではありません。まだ罹っていない方は、是非2回の接種をおすすめします。

リンゴ病の流行が続いています。過去の流行のパターンでは、これから夏にかけてピークが来ると言われていますので引き続き注意してください。リンゴ病は顔の発赤と四肢の発疹・発赤が特徴です。妊婦さんが感染すると、稀におなかの赤ちゃんに障害が出る場合があります。

周囲へ感染するのは発疹が出る10日くらい前です。発疹が出て診断がついた時には、すでに周囲の人へ感染することはありません。つまり早期発見や予防のできない病気です。ワクチンもないため、普段から手洗いや咳エチケットを心がけるしかありません。

フジTVの取材

埼玉県内とりわけ北部でリンゴ病が流行しているため「警報」が出たことを受けて、「めざましテレビ」の取材の申し込みがありました。

私自身のインタビュー(取材)が5分程度、待合室のお母さんたちにも夕方まで取材をされていたようです。残念ながら？リンゴ病で来院された方の取材は出来なかったようです。

放送予定は翌日の5月13日だったのですが、夜間に台風6号が接近し、未明には地震も起きたためキャンセルされたとのことです。



体温を調節するしくみ・・・汗のはたらき

運動すると筋肉が熱を発生します。激しい運動でなくても、普通に歩いたり家の中を動き回るだけでも筋肉から熱が発生しています。余分な熱を身体の外に逃がして体温を一定に保つ仕組みの一つが「汗」です。皮膚に出てきた汗が蒸発するときに、身体の熱も一緒に空気の中に逃がしています。ですから汗で体温を下げるには「汗をかくこと」と「汗を蒸発させること」が必要です。

水分（と適度の塩分）を常に補給しておかないと、必要な時に汗が出なくなってしまいます。また湿度が高く、風のない空間では汗が蒸発できません。熱中症の対策として、水分や塩分の補給と風通しを強調されるのは、しっかりとした理由があるのです。

暑い日の激しい運動や不要な外出は控え、水分と塩分の補給、エアコンや扇風機を適度を使って体力の消耗や熱中症を防ぎましょう。

熱中症に注意！！！！

まだまだ体が暑さに慣れていません。とりわけ小さな赤ちゃんは、重ね着をしているだけでも熱がこもって一時的に体温が上がる（＝熱が出る）ことがあります。

お母さんたちが「暑い！」と感じた時は、赤ちゃんの服も1枚脱がせてくださいね。

日本脳炎ワクチンの新情報

日本脳炎ワクチンは、製造方法の変更に伴い一時的に接種できなかった時期がありますが、およそ5年位前から漸次再開され、今では従来通りの接種ができます。

標準接種は3歳からⅠ期接種（合計3回）を開始します。

<続けて2回、およそ1年後に3回目>

<生後90ヶ月未満（7歳5ヶ月）が対象期間>

また、9～12歳の時に4回目（Ⅱ期）を接種します。

平成7年4月2日から平成19年4月1日の間に生まれたお子様は、一時中断の時期に重なったために、標準接種ができませんでした。その救済措置として、この年齢の方は19歳まで定期（公費）接種ができるようになっていますので、今からでも再開されることをお勧めします。

平成19年4月2日～平成21年10月1日の間に生まれたお子様たちは、標準接種が再開されていましたが、積極的な勧奨が十分行われていない可能性があります。

この年齢の方が生後90か月までの間にⅠ期接種（合計3回）が完了しなかった場合、Ⅱ期接種の対象期間中に未接種分を公費接種できることになりました。

違いが分かるかな？

待合室のベンチやキッズチェアの座面や背もたれを張り替えました。すわり心地も良くなりました。



夜間や休日の子供の急病対策は？

① 埼玉県小児救急電話相談（#8000）

家庭での対処法や受診の必要性について、看護師が電話相談に応じます。

② こどもの救急（日本小児科学会）

診療時間外に医療機関を受診したほうが良いかどうかの判断の目安をホームページで提供しています。<http://kodomo-qq.jp/>

③ 埼玉県救急医療情報案内

受診可能な医療機関の名称・所在地・電話番号を案内します。

(24時間、365日) 048-824-4199

当院のホームページにも「夜中の急病 どうしたらいいの？」というタイトルで発熱や嘔吐した時の対応を紹介しています。ご参考にしてください。



当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>

このクリニックニュースもご覧いただけます。

クリニックニュースの無料郵送サービスもしています。

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい。

反対に現在郵送サービスを受けている方で、「ネットで読めるから郵送は不要」という場合は、ご連絡いただければ幸いです。



加須市下高柳 1633-1

TEL0480-66-4150